

おもてめん ワークシート

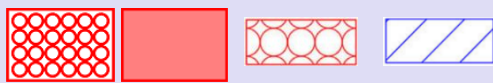
と く ときがわ しょうないがわ りゅういきちすい じょうりゅういきへん
「みんなで取り組もう 土岐川・庄内川の流域治水(上流域編)」P24の
かくにんてじゅん ひと かくにん
【ハザードマップでの確認手順】にそって、おうちの人とも確認しましょう。

おおあめ
【大雨のとき、そこにとどまっていたらだいじょうぶ？ かくにんフロー】

スタート

- ① ハザードマップに学校・自宅・よく行く場所に印をつけましょう。
印をつけた場所ごとに、②から確認していきましょう

- ② ①で印をつけたところは、水害によって建物がたおれるおそれがある地域(家屋倒壊等氾濫想定区域)に入っていますか？



←このような印の範囲

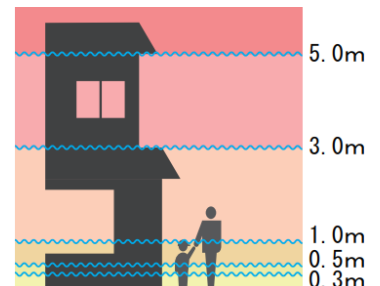
また、土砂災害について、危険な区域に入っていますか？

- はい (どれか1つでも入っている) いいえ → ③へ

- ③ ①で印をつけたところは、どのくらいの高さまで水につかりますか？水につからない高さに部屋はありますか？

(洪水ハザードマップ: m未満)

(内水ハザードマップ: m未満 (情報がある場合))



- いいえ (どちらか1つでも)

はい (水につかる部屋もあるが、つからない部屋もある) → ④へ

水につからない → うらの⑦へ

うらの
⑤へ

- ④ 建物が水につかるのは、水につからない高さの部屋で、水がひくまでの期間「がまん」できるような短い期間(例: 12時間未満)ですか？または、水・食料・非常用トイレ・毛布・薬などの、自分たちにとって必要な備蓄が不足しないなどの準備がありますか？

(浸水継続時間: 時間未満)

いいえ → うらの⑥へ

がまんできるくらい短い・準備がある → うらの⑦へ

浸水深 0.5m 以上が継続する時間
12時間未満
12時間～1日未満
1日～3日未満
3日～1週間未満
1週間～2週間未満
2週間以上

【^{おおあめ} ^{なが}大雨が長くつづきそうなとき、^{かわ} ^{みず} ^{ていぼう} ^{ちか}川の水が堤防に近づいているときは・・・】

⑤ とどまっていますは危険です！ 必ず安全なところへ避難しましょう！



^{かわ} ^{みず}川からあふれる水のいきおいで^{たてもの}建物がこわれたり、^{すいぼつ}水没したりするかもしれません。

^{やま} ^{ちか}がけや山の近くでは、^{どしゃさいがい} ^{たてもの}土砂災害で建物がこわれるかもしれません。

^{まん} ^{いち} ^に ^{おく}万が一、逃げ遅れてしまったら、^ば ^{そのとき}その場・そのときに一番安全と思われる^{ばしょ} ^み場所です身を守りましょう。

⑥ より安全な、とどまることができる場所へ避難したほうがよいです



^{どうろ} ^{しんすい} ^{まえ} ^{みず}道路が浸水する前に、水につからない^{ちいき}地域や「^{しんすい} ^{じぞく} ^{じかん}浸水継続時間」がより少ない^{ちいき} ^{いどう}地域へ移動するほうがよいです。

また、^{じたく} ^{ばあい} ^{なが} ^{じかん} ^{しんすい} ^{ばあい}自宅の場合は、長い時間浸水した場合でもとどまれるように、^{びちく} ^{ようい} ^{ようい}備蓄を
用意するようにしましょう。

⑦ とどまって、洪水の危険がさるのを待ちましょう



^{むり} ^{そと} ^{いどう}無理に外にでて移動したりせずに、^{こうずい} ^{きけん}洪水の危険がさるのを待ちましょう。

ただし、^{しんすい} ^{ばあい} ^{ていてん} ^{まど} ^や ^ね ^{こわ} ^{あめ} ^{かぜ}浸水しない場合でも、停電・窓ガラスや屋根が壊れて雨風がはいてくる・^{あまも} ^{はっせい}雨漏りが発生するなど、^ば ^{その場}その場にとどまれなくなる場合もあります。万
^{いち} ^{ひなん} ^{ばしょ} ^{ひなん} ^{じょ} ^{かく} ^{にん} ^まが一にそなえて、避難場所や避難所について確認をしておきましょう。

^{ひなん} ^{さき}避難先はどこにしますか？いくつか^{かんが}考えておきましょう。

- ハザードマップの^{ひなん} ^{ばしょ}避難場所 ()
- しんせきなどの^{うち}家 ()
- そのほか ()

かぞくとのきめごと (^{だれ} ^{れんらく} ^{ひとり} ^まどんなとき誰と連絡をとるか、一人にいるときはどこで待つかなど)

[]